

# 上越市でも「1者入札」は速やかに中止すべきだ 三重県、熊本県などに続いて東京都でも「1者入札」許さぬ制度改革

「しんぶん赤旗」4月1日号によると、東京都の都政改革本部は3月31日の第7回会合で、「1者入札」の中止など入札契約制度改革の実施方針を決定したとのこと

です。「1者入札」というのは、文字通り、入札参加者が1者のみとなった入札をいいますが、今回の決定は入札制度改革の重要な一歩となります。

小池百合子都知事は会合で「『1者入札』(の中止)などは議会から提案があったことも拝読している。オリンピック(会場)、豊洲(新市場、江東区)など建設費の高価格体質があると言わざるを得ない。説明がつく、納得するものを確保してほしい」と述べたということです。

日本共産党東京都議団は昨年9月12日、「豊洲新市場整備をめぐる重大な問題点と徹底検証のため

の提言」で、豊洲新市場の主要3施設工事で1者のみの入札参加、平均99.9%の高落札率で発注された談合疑惑を指摘。建設費高騰の検証を求めています。

「1者入札」はいま、全国的に問題になっていきます。三重県、熊本県などでは「1者入札」となった場合、「競争性・公正性・透明性を図るとする制度の目的からして、好ましい状況とは言えない」(熊本県)として基本的に中止する措置をとっています。

## 上越市でも新水族博物館工事などで「1者入札」

上越市でも昨年5月25日の臨時議会で新水族博物館新築本工の請負契約審議の中で、私が「1者入札」を問題にしました。

同工事の入札は昨年5月2日に行われました。入札方法は制限付き一般競争入札でしたが、入札に参加したのは、大成・田中・高館共同企業体(大成建設・田中産業・高館組)の3社で組んだ共同企業体)のみで、同企業体は予定価格の99.93%、80億8000万円の高価格で落札しています。

私は「共同企業体ひとつだけの入札参加では競争性を確保することはできない、落札した共同企業体はいったいどこで競争したの

## 市民プラザで談合裁判報告集会

4月2日、市民プラザで上越市ガス水道局所管の本支管工事での談合疑惑に関する裁判の報告集会を行いました。日曜日でのいろいろな行事の多い中で、20数人の人たちが集まってくれました。

原告団長である私からは、裁判結果を受けての感想と東京都の「1者入札」中止の動きなど最近の入札改革の動向にふれた挨拶をさせていただきました。

その後、弁護団から判決の分析、今後の展望などについて語っていただきました。裁判官が談合事案の特殊性を無視して、交通事故など通常の不法行為の判断の枠組みのなかで検討していることや我々が提出した個別の証拠を消極的に評価していることなどが明らかにされま



した。

また、原告団の鷲澤副団長が膨大な入札結果などを分析したデータをもとに、上越市の入札が競争性を失っている実態を告発しました。

参加者からの意見では、「3月6日の新潟地裁の判決(原告の請求棄却)は入札改革の流れに逆行する判決だ。ここにきてますます怒りがわいてきた」「談合裁判で勝利したところの経験を学びたい」などの声が上がりました。

## 山菜料理を楽しむ会、

今年4月30日に開催

恒例となった「山菜料理を楽しむ

い制度改革をすべきです。



【チョウジザクラ】バラ科の木。漢字で「丁字桜」と書きます。3月から4月下旬にかけて咲きます。花は白、または薄紅色です。花の形は横から見ると、丁字に見えます。26日、吉川区代石にて撮影。

恒例となった「山菜料理を楽しむ会」は、政治を語る会、今年も開催します。日時は4月30日午後1時半から。会場は吉川多目的集会场。会費は1人、1000円。会では橋爪市議など日本共産党議員団のメンバーがスライドで議会報告をします。

はしづめ法一の  
活動レポート

**No.1802 2017.4.9**  
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索



新水族博物館工事の「1者入札」を追及した時のことを報じた活動レポート

# 春よ来い

## 第四五〇回 一枚の写真から

当たり前と言われれば当たり前かも知れませんが、親子が似ているのは。先日、糸魚川市能生でTさんの赤ん坊の頃の写真を見せてもらい、びっくりしました。Tさんを抱いているお父さんの顔の輪郭、やさしい目、眉毛の生え方などの特徴がTさんにそっくり引き継がれていたのです。

写真はTさんが数年前まで住んでいた溝尾の家の前庭で撮ったものです。赤ん坊を抱いているお父さんはまだ三〇歳前後といった感じで、目にはうれしさが、口元にははにかしさが表れていました。

Tさんはこの写真を見て、当時住んでいた自分の家の状況を語ってくれました。「ガラスの入っていない戸は雨風を防ぐのがやっとだった」「屋根は板葺きで重しに石をのせていた」「床下の空間には竹の棒や木材などを差し込んで、しまっておいた」などとのべ、懐かしそうでした。

説明を聞いてから、改めて写真を見て思ったのは、Tさんは顔だけでなく、性格や暮らし方も父親譲りではないかということでした。訥弁（とつべん）ながら、情のこもった話ぶり、いつも控えめなところ、几帳面なところなどです。私はお父さんには一度もお会いしたことがありませんので、これらのことは私の勝手な想像にすぎません。でも、なぜか、外れていないという気がするのです。

私はこの一か月ほど、Tさんのしゃべりをすぐそばで聞き続けてきました。一番驚いたのは、西飛山の公民館でスライドの説明をしていたときでした。参加されていた一人のお母さんが、Tさんがしゃべるとすぐに、「そうそう、そういうこともあったね」などと反応してくれたのです。それも一回や二回ではありません。スライドを説明した時間帯、ずっとこの調子でTさんと

このお母さんの「かけあい」が続いたのです。この見事とも言える対話の能力もひよっとすると父親譲りかも知れないなと、私は思いました。

面白いと思ったのは、このセピア色の写真から、わが家の父のことが頭に浮かんできたことです。

Tさんのお父さんが着ておられた服、どこかで見ることがあるなど思っていたのですが、数日前、やっと思い出しました。父が若かりし頃、「酒屋もん」という出稼ぎに出たときに着ていたものと同様だったのです。服はジャンパーだったのでしょうか、皺が寄ってもすぐに元に戻る弾力性を感じました。また、袖口のところだけ色違いになっていたところはとてもいいなと思いました。

服のほかにも思い出させてくれるものがありました。髪型です。Tさんのお父さんの耳のところから真っすぐ上に刈り上げるやり方は当時はやったのでしょね。若い父の髪型もこのタイプでした。

たぶん、Tさんのお父さんの写真とほぼ同じ時代だったのだらうと思います。この髪型をした父がとてもかっこいいと感じた写真がわが家にも何枚かありました。そのひとつは大島の旭地区にある母の実家へお盆泊まりに行くときのものです。暑い時期でしたから、父はランニング姿で、土産の入ったリュックを背負っていました。父はたくましかったですね。

Tさんのお父さんはこの写真を撮ってから十数年後、突然の病気で亡くなりました。まだ、四〇代の若さです。さぞかし無念だったに違いありません。でも、お父さんはいま、きっと喜んでおられるはずです。Tさんが自分の年齢を大きく超えて生き、世の為人の為に頑張っていることを。



### 今年も大口満先生の個展

2日、高田の大島画廊へ行ってきました。恒例となっている大口満先生の個展を観るためです。

このところ、海岸線の国道を歩いて糸魚川市へ行く機会が多く、先生の描かれた絵のなかで漁港の絵に目が行きました。それと、私も行った

ことのある東本願寺の風景、重々しさがしっかり伝わってきました。

いつも楽しみにしているのは、絵だけでなく、先生とまわりの人たちの文章です。先生が怪我をされた時のエッセー、先生の周りの人たちの寄せ書きなど、とても素敵でした。個展はきょう、9日までです。

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

|        | 3月29日(水) | 4月5日(水) |
|--------|----------|---------|
| 上越南消防署 | 0.040    | 0.047   |
| 上越北消防署 | 0.053    | 0.050   |
| 新井消防署  | 0.050    | 0.053   |
| 頸北消防署  | 0.043    | 0.050   |
| 頸南消防署  | 0.060    | 0.060   |
| 東頸消防署  | 0.047    | 0.060   |
| 高士分遣所  | 0.060    | 0.050   |
| 名立分遣所  | 0.057    | 0.050   |



「将来何になりたいか」。総合学習で学んだ吉川小学校6年生が粘土で制作。